

大学図書館問題研究会 京 都

〒607-8175 京都市山科区大宅山田町 34
(Tel) 075-574-4118

京都橘女子大学図書館 田北十生気付
(Fax) 075-574-4124

総会特集号



大図研京都支部 第23回総会開かれる！

去る9月29日(金)午後7時から京大会館217号で1999年度大図研京都支部総会が開催されました。

定例総会は、例年7月に開催されていましたが、今年度は大図研全国大会が京都で開催されることになったため、総会日時を延期しました。

総会参加者は12名と少なかったのですが、討論は大いに盛り上がり、予定の9時になっても、なお続いたのですが、会場の都合もあり、2次会に移して行われました。

全国大会を京都で無事果たせたのですが、この取り組みの中でいろんなことを学んでも来ました。

総会に先立ち、9月23日～24日には、若井さんの別宅に支部委員・実行委員が集まり、1泊2日で全国大会の取り組みの総括と今後の京都支部の取り組みについて、和やかに熱のこもった論議が行われました。

国公立を問わず、今大学図書館は大きな変革期に立っていることが実感として明確に

なり、今後の大学図書館のあるべき姿を真剣に考えて行く作業が図書館人に求められているのではないかとということが論議されました。

今回の総会は、これらの取り組みの上に立って、開かれたこともあり、有意義な総会になったと言えます。

目次	大図研京都支部第23回総会開かれる！……1頁
	大図研京都支部総会報告(活動総括)……2頁
	大図研京都支部総会報告(2000年度方針)……5頁
	活動日誌……6頁
	1999年度決算報告及び会計監査報告……8頁
	2000年度予算……8頁
	2000年度支部役員/復刻版配布販売……10頁

ご意見・ご要望、投稿はメール、又はFAXで
編集気付(kazuodesu@ma2.justnet.ne.jp) 田北まで



大学図書館問題研究会 第23回京都支部総会報告



1999年度活動総括及び2000年度活動方針

はじめに

国立大学の独立行政法人化をめぐる動きの焦点は、文部省の「国立大学等の独立行政法人化に関する調査検討会議」に移っています。そこでは独立行政法人通則法の枠内での、法令面での措置や運用面での対応など制度の内容についての具体的な検討をすることになっていますが、基本的な方向としては「評価による資源配分」による大学の再編・淘汰に結びつく可能性を有しています。

一方、私立大学は、間近に迫った大学「全入」時代を前にして、経営面での厳しい状況に直面して、教育・研究面で改革を進め、社会との連携を模索しています。このような状況の中で、大学の一部署である図書館も無関係でありえず、予算と人員の抑制の中でのサービスの多様化、高度化を迫られています。このような時にこそ、ひとりひとりの専門的力が問われますが、私立大学では図書館員の配転が常態化し、従来、専門的とみなされてきた業務のアウトソーシングが進み、現場での経験の蓄積というものが成り立たないという状況になってきています。

この困難な条件の中で、個々の図書館員の能力のレベルアップをはかるためには、すべての図書館員が協力し合い、情報の交換や研修の機会が継続的に提供されることが必要です。また、そのことが結果として利用者へのサービス向上につながることを積極的にアピールしていかなければなりません。

大学図書館問題研究会京都支部では、このような状況を踏まえ、図書館員のより高度な力量形成に向けて活動を展開して来ました。

1. 1999年度活動総括

(1) 例会の開催と会員間交流の発展

会員間の交流をはかるため、1998年度より再開された例会は、1999年度も11月例会「大学図書館と図書館の自由」、1月の近畿4支部合同例会「21世紀における書店と図書館のあり方を考える」、3月例会「大学図書館のホームページを考える」、5月



例会「栗東町立図書館見学」と交流合宿と開催することができました。

また開設2年目を迎えた京都支部メーリングリスト「ゆりかもめ」は、会員間の交流だけでなく、今年の4月からは全国大会運営の連絡用として活用されました。

(主な意見)

- (1)メーリングリストへの加入をメールを使える環境にあるすべての会員にして貰い、日常的に仕事のこと等を交流できるようにすることが、会員の交流を図る上でも大切である。
- (2)他館見学などもっと実施して、学ぶ研究会にすることが求められている。
- (3)若い人たちの意見もドンドン取り入れて、実のある研究会にする努力が必要である。

(2) 支部報

支部報は毎月発行しています。好評の「数珠つなぎ」は4年間続いています。会員間の交流を深めるのに一定の役割をはたしています。新しいシリーズとして「私のインターネット活用術」を時々、掲載してきました。例会や支部委員会もこまめに報告し、最新の支部活動を伝えるべく、努力してきました。今後の課題として実務的な記事や実践報告を増やすことがあげられます。

また、大図研30周年を記念して、京都支部報復刻版のCDをこの8月の全国大会の前に作成、発行し、京都支部の全会員に配布しました。支部としてのこのような活動は画期的なものであり、これによって、京都支部の現在に至る活動の全容が明らかになりました。

(主な意見)

- (1)復刻版を見て感じるのであるが、最近研究活動の発表がない。やはり、研究活動の記事を積極的に組織することが必要ではないか。研究会は、他にいろいろあり、図書館員も、結構いろんな研究会に参加しているがそれがどれだけ生かされているのだろうか？自分の担当分野などの研究を深めることは大切だが、それが全体の物になっていないし、大学図書館人として、大学図書館めざす方向について、しっかりしたものを持たなければ、仕事のやり甲斐も確信も見えてこないのではないか。
- (2)復刻版を発行したことであり、しっかり大図研京都支部の20年に学ぶ必要があるのではないか。

(3) 京都支部ホームページの開設

昨年の9月にメーリングリスト「ゆりかもめ」のサーバーの移設の計画がもちあがった際に、京都支部のホームページもそこに開設し、メーリングリストと統合するという方向で準備を進めて来ました。そして今年の2月21日に京都支部のホームページを公開することができ、京都支部としての情報発信の基盤が整えられました。

内容については、支部紹介と入会案内・手続き、メーリングリスト「ゆりかもめ」の紹介、行事紹介、支部委員会報告、支部報目次など充実したものになっています。またリンクも実務に役立つことを念頭におき、精選されたものになっています。

また今年は第31回全国大会が京都で開催されますが、ちょうどタイミングよくホームページが活用できることになり、大会情報コーナーを新設することができました。

すでにホームページを見て、新規会員やメーリングリストの新規加入が増えたりといった効果が現れています。

支部でこのような充実したホームページを運営しているのも京都支部の注目すべき活動の側面としてとらえることができます。

(主な意見)

大図研で生きたホームページを持っているのは、京都支部だけである。この点は先進的な役割を果たしているもので、今後も大いに生かしていく必要がある。また、会員が仕事に役立つホームページになっていると思う。

「大学図書館問題研究会・京都」 <http://www07.u-page.so-net.ne.jp/rg7/dtkk/>

(4) 第31回全国大会へのとりくみ

昨年の第30回全国大会の最中の8月7日に開催された第1回全国委員会で第31回全国大会の会場を京都支部で引き受けてほしいという要請があり、9月7日の支部委員会で引き受けることを決定しました。直ちに会場候補のリストアップに取りかかり、検討した結果、10月26日の第3回支部委員会において立命館大学に決定しました。この後、大会実行委員会を11月27日に発足させ、大会準備に向けての体制を整えました。会場運営、記念講演と開催地企画などの準備に取り組むとともに、京都支部ホームページを通じての広報活動も行うことができました。

8月26日から28日にかけての3日間、延べ139名の参加者を得て、好評のうちに無事終わることができました。

(主な意見)

- (1) 全国委員の身勝手さにはあきれた。締め切りも時間も守られていないように思えた。
- (2) 京都支部としての大役も大きな問題の無く全国大会を成功させることができた。これは実行委員に参加してくださった会員の努力に負うところが大きい。
- (3) 大会後の行事や観光旅行も企画したら良かったと思う。せっかく全国から集まったのだから、そんな期待もあったのではないか。
- (4) 会場受け入れをしてくれた立命館大学と立命館大学の会員の協力が無かったら、この大会もうまく行かなかったと思う。そういう点で若井さん、井上さんの功績が大きい。

(5) 組織活動

会員数は97名(1999年7月現在)から93名(2000年7月現在)と減少しています。入会者が4名ありましたが、これを上回る退会者が出たためです。退会者はほとんど退職者です。

また京都支部ホームページ開設に伴い、他支部の会員が、支部報の購読を希望するケースが出てきており、会員構成に変化が現れてきています。書店関係者の入会など、大学図書館の枠にとらわれない会員の幅の拡がりにも注目する必要があります。

しかし、組織の活性化のためには、若手の会員を増やすことが必要であることはいまでもありません。

(主な意見)

- (1) これからも退職による退会者が多く出ることが予測される。特に京大の会員が多いだけに京大の図書館人の世代のひずみが影響している。京大では、いわゆる世代としての中間層がほとんど居ない。これは京大の採用計画が偏ってことになっている結果なのである。
- (2) 若い層の入会者も少ない。もっと若い層にも働きかけ、京都支部の活性化が必要である。
- (3) 図書館員の人数からして会員の少ない大学や、会員のいない大学での入会者を作る活動が望まれる。

伝言板

(6) 財政活動

財政活動については、支部委員会として毎月状況を把握するとともに、前年度に引き続いて積極的な会費納入の働きかけを行った結果、2000年度会費の納入率は9月現在で71%に達しています。

特別事業基金については、次年度支部報復刻版の発行費用としての支出が発生します。

(主な意見)

- (1) 財政担当者は大変だけど、やっぱり督促をちゃんとしないと会費の納入数は落ち込んでしまう。
- (2) 単年度で見ると支出の方が多くなっている。これはホームページの費用などが増えてきたため、やはり基本は、会員拡大をしないと財政がパンクしてしまう。今は繰越金があるから何とか持ってるけど……

2. 2000年度活動方針

(1) 研究活動のさらなる発展と会員間のコミュニケーションの重視

今年度も研究活動の充実をはかるとともに、会員間のコミュニケーションを促進するため、例会の開催や支部報の発行をはじめ一層の努力をします。

また直接に会員に声をかけ、積極的に交流の機会をつくることに努めます。

(主な意見)

積極的に声かけをして、誘い合って参加して貰うことが必要、人間的なつながりを作る活動が、会の活動でも大切なことだと思う。僕らがこうして委員を続けられるのも、委員の人間関係が密になってるからだという側面が大きいのではないだろうか

(2) 研究集会について

昨年度は、全国大会の準備のため、実施できませんでしたが、今年度は実施に向けて取り組みます。

(3) 支部報について

今年度も毎月の発行をめざします。

会員の多様なニーズに応え、読んで興味を持てる内容になるよう努力します。

読みやすい紙面づくりを心がけます。

できるだけ多くの人に気軽に執筆していただけるよう、努力するとともに、投稿規定も整備します。

(主な意見)

復刻版を作ったと感じたことですが、原稿を書いているときは、さして思わないんだけど、振り返るとそれが、歴史を作ってる。歴史的活動に参加してるということ。これは、一人の人間として考えると大きなことに思える。だから、会員のみなさんにもっともっと積極的に執筆して貰うことが会員のみなさんに結果として喜ばれることではないかと考える。

(「大学の図書館」の「大会ハイライト」1-0月号参照)

(4) 会員を増やす活動

大学図書館問題研究会および京都支部の活動を説明し、会員を増やす活動を進めます。特に若手の会員を増やし組織の若返りをはかることを重視します。

そのために魅力ある企画を立てるように努力します。



(5) 会費を全員が前納します。

会員としての義務である会費納入を全員が確実に行いましょう。

財政活動を一層前進させるため、支部委員会において、毎回担当者から報告と提案を受け、全員で討議するなど集団的取り組みを強めます。

また、個々の会員に積極的に声をかけ、会費納入をはたらきかけます。

(主な意見)

会員拡大にも力をいれ、仲間を増やして行くことが、会活動の活性化、前進につながると思うので、大いに自信を持って、仲間を増やそう!

付: 活動日誌

1999年

- 7月24日(土) 第22回京都支部総会 (ビヤホール・ミュンヘン)
- 9月7日(火) 第1回京都支部委員会 (同志社大学クローバーハウス)
- 10月5日(火) 第2回京都支部委員会 (同志社大学クローバーハウス)
- 10月26日(火) 第3回京都支部委員会 (同志社大学クローバーハウス)
- 11月27日(土) 第1回大会実行委員会 (京大会館)
第1回京都支部例会「大学図書館と図書館の自由」
会場: 日本イタリア京都會館

講師：若井勉（立命館大学） 参加者数：9名

12月7日（火）第4回京都支部委員会（同志社大学クローバーハウス）

2000年

1月11日（火）第5回京都支部委員会（同志社大学クローバーハウス）

1月22日（土）第2回大会実行委員会（京都私学会館）

近畿4支部合同例会「21世紀における書店と図書館のあり方を考える」

会場：京都私学会館

講師：南浦邦仁（ジュンク堂書店京都店）参加者数：40名

2月8日（火）第6回京都支部委員会（同志社大学クローバーハウス）

3月7日（火）第7回京都支部委員会（同志社大学クローバーハウス）

3月11日（土）第3回京都大会実行委員会（ピストロ・リップル）

第2回京都支部例会「大学図書館のホームページを考える」

会場：立命館大学国際平和ミュージアム

講師：井上雅人（立命館大学総合情報センター）

参加者数：20名

4月11日（火）第8回京都支部委員会（同志社大学クローバーハウス）

4月14日（金）第4回大会実行委員会（京都大学附属図書館）

5月9日（火）第9回京都支部及び第5回大会実行合同委員会

5月27日（土）～28日（日）

第3回京都支部例会「栗東町立図書館見学」・交流合宿

参加者数：11名

6月6日（火）第10回京都支部及び第6回大会実行合同委員会

6月28日（水）全国大会宿泊施設及び自主企画会場下見

枳殻邸（きこくてい）使用申請手続きの件

（京都パストラル）若井、大館

7月1日（土）全国大会会場下見（立命館大学アカデミア立命21）

出席：篠原俊夫、篠原恵子、若井、大館、井上

7月7日（金）第11回京都支部及び第7回大会実行合同委員会

8月1日（火）第12回京都支部及び第8回大会実行合同委員会

8月8日（火）全国大会会場通信テスト

8月26日（土）～28日（月）

第31回全国大会（立命館大学アカデミア立命21）

会費納入のお願い

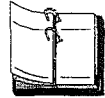
2000年度会費の納入をお願いします。1999年度会費未納の方は至急会費の納入をお願いします。

会費についての問い合わせは財政担当支部委員

又は、最寄りの支部委員又は、編集子までお願いします。

【第2号議案】

1999年度決算報告及び会計監査報告 (1999.7-2000.6)



総収入	総支出	差引残高
294,664	142,966	161,698

収入の部

項目	予算	決算	差引額	備考
前年度繰越金	140,656	140,656	0	
1999年度会費	149,600	142,800	6,800	84名
1998年度会費	8,500	3,400	5,100	2名
1997年度会費	0	1,700	△ 1,700	1名
支部報購読会員	0	5,000	△ 5,000	1名('99~'03)
支部活動援助金	10,000	10,000	0	99年度分
雑収入	0	1,108	△ 1,108	利息・カンパ
合計	308,756	304,664	4,092	

支出の部

項目	予算	決算	差引額	備考
会報	54,000	37,780	16,220	
(内訳) 印刷費	14,000	5,880	8,120	
郵送費	40,000	31,900	8,100	
研究交流集會費	70,000	55,211	14,789	
(内訳) 新春合同支部例会	20,000	35,563	△ 15,563	分担金立替分金 (大阪:5000 奈良:3000)
支部例会	20,000	13,788	6,212	11/27, 3/11, 5/27
京都研究集會	20,000	0	20,000	
支部総会	10,000	5,860	4,140	99.7.24
全国委員会補助	30,000	30,000	0	
事務費・通信費	10,000	2,975	7,025	
HP開設・維持費	0	17,000	△ 17,000	維持費・月2,000円
次年度繰越金	143,756	161,698	△ 17,942	
雑費	1,000	0	1,000	
合計	308,756	304,664	4,092	

1999年度は 特別事業基金繰入は なし
現在の 特別事業基金は 780,000.00円 です。

1999年度大学図書館問題研究会
京都支部会計監査報告

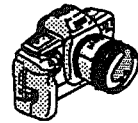
帳簿及び現金は適正に保管・記載されていた。

2000年7月7日

堤豪範 (印)
那須たみ子 (印)

1999年度予算

(2000. 7-2001. 6)



収入の部

項目	予 算	備 考
前年度繰越金	161,698	
2000年度会費	144,500	85名
未納会費	17,000	10名
支部活動援助金	10,000	
合計	333,198	

支出の部

項目	予 算	備 考
会報	50,000	
(内訳) 印刷費	10,000	
郵送費	40,000	
研究交流集会費	70,000	
(内訳) 新春合同支部例会	20,000	
支部例会	20,000	
京都研究集会	20,000	
支部総会	10,000	
全国委員会参加補助	30,000	10,000×3
事務費・通信費	10,000	
HP維持費	24,000	1ヶ月 2,000円
予備費	148,198	
雑費	1,000	
合計	333,198	

2000年度 特別事業基金

2000年度は特別事業基金繰入は なし

支部報復刻版 (CD-ROM) 発行に支出予定

【第3号議案】

2000年度支部役員選挙

新支部委員（あいうえお順）

- 井上雅人（立命館大学図書館情報管理課）
- 大館和郎（京都学園大学総合研究所事務室）
- 大綱浩一（京都大学附属図書館）
- 金森孝之（京都大学経済学研究所図書室）
- 篠原俊夫（京都大学総合人間学部図書館）
- 田北十生（京都橘女子大学図書館）
- 呑海沙織（京都大学附属図書館）



監査委員

- 堤 豪範（京都大学附属図書館）
- 那須たみ子（京都大学理学部地質学鉱物学図書室）

大学図書館問題研究会

京都支部報復刻版（CD-ROM版）



配布・販売中！

大図研 30 周年を記念して、大図研京都支部では支部報の復刻版（CD-ROM 版）を発行しました。

内容は創刊号～150号（1978/10/28～1997/8/15）の約20年間の京都支部報の現物写真版です。検索エンジンも搭載し、拡大、縮小いずれも可能、また必要であれば、プリントアウトもでき、持ち歩きも簡単ということで、冊子体よりも使い勝手が良いということでCD-ROM版にしました。

どうしても活字でとご希望の方は、大変申し訳ありませんが、必要ページをプリントアウトしてください。（全部プリントアウトすると1,000ページを越えてしまいますのでご注意ください。）

■京都支部会員 無料配布（送料支部負担、支部報郵送先に郵送します。）

新しく入会された方も同様です。今後も入会者には、無料で支給します。

■京都支部会員以外の方で復刻版をご希望の方は、有料（原価）販売します。

○販売価格（京都支部会員以外） 1枚 2,500円（送付の場合は、送料別途350円）

○申込方法 電子メール又はFAXで、京都支部 田北までお申し込みください。

E-Mail : kazuodesu@ma2.justnet.ne.jp FAX : 075-574-4124

* mail, fax 共に宛名・送付先を明記してください。

○配布方法 申請住所へ送付します。代金は現物到着後1週間以内に現物に添付の内容にしたがって送金してください。

■京都支部報の読者 特別価格2,000円（送料無料で）販売します。